

コロナ禍での「災害避難対応・対策」と「生活支援・孤立防止」勉強会の開催について

日ごろから大変お世話になります。

当法人では、コロナ禍の中で水害の時期を迎えることから、避難所の3密のリスクを考慮し、それを避ける緊急時の選択肢として熊本地震での教訓を基に本年4月19日に「災害時の車中泊避難訓練」を実施しました。それに賛同した高知県津野町での「地域の応援隊和（なごみ）」が同年6月13日、14日にかけて実施した、同訓練のアドバイスなどを行ってきました。

同時に3密防止による避難所の定員削減、避難所の不足、それに伴う分散避難した避難者の把握などコロナ禍での災害時の問題課題の抽出などを行いながら、過去の災害の教訓や被災地支援の経験などに照らし、その対応や対策について検討を行ってきました。

これらを踏まえて高齢者や障がい者、妊娠中の人、持病がある人などリスクのある人も含め、誰もが出来るだけ困らないコロナ禍での災害避難対応・対策の仕組みづくりを行い、実践していく必要があると考えています。

また、コロナ禍での「学校の休業」「外出の自粛」や「接触を減らす」、3密防止などにより、地域で取組む高齢者の介護予防や認知症予防活動などの休止、それに伴う孤立や生活リズムの乱れなどの影響、高齢者や障がいのある方など日常的にケアが必要な方々やその家族などの暮らしへの影響も課題として浮かび上がりました。このことは災害時の避難や避難所の課題にも大きく関係してきます。さらにコロナ禍を踏まえれば、これらは今後、従来の仕組みに戻すだけでは解決にならず、地域のつながり方や住民主体の助け合いの仕組みの再構築など多くの見直しが必要になると考えています。

そこで、これからの新たな仕組みづくりを模索し構築すること、それを実践につなげる人材発掘、育成のため、標記の勉強会を下記の通り行います。

記

1. 【申 込】 3密を避けることも踏まえ、参加希望者はメールで申し込みをお願いします。メールには住所、氏名、年齢、携帯番号を明記の上お願いします。
2. 【対象者】 平時からのつながりが必要で助け合いたいと考えている人で、災害などの緊急時にも自分のできる範囲、できることで助け合いたいと思っている人。
3. 【日 時】 参加申込のあった方に、当法人から直接メールで連絡します。課題の量や申込人数などから、複数回行うことも考えています。
4. 【場 所】 当法人事務所（宮崎市清武町木原534-2）など
5. 【参加費】 無料（但し、寄附金は喜んで受け付けます。）
6. 【申込等】 NPO法人みんなのくらしターミナル（担当初鹿野）
7. 【E-mail】 youkoso@minnanokurashi.org
8. 【U R L】 <https://minnanokurashi.org/csgform/>
9. 【電 話】 0985-88-1057

